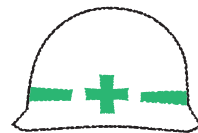


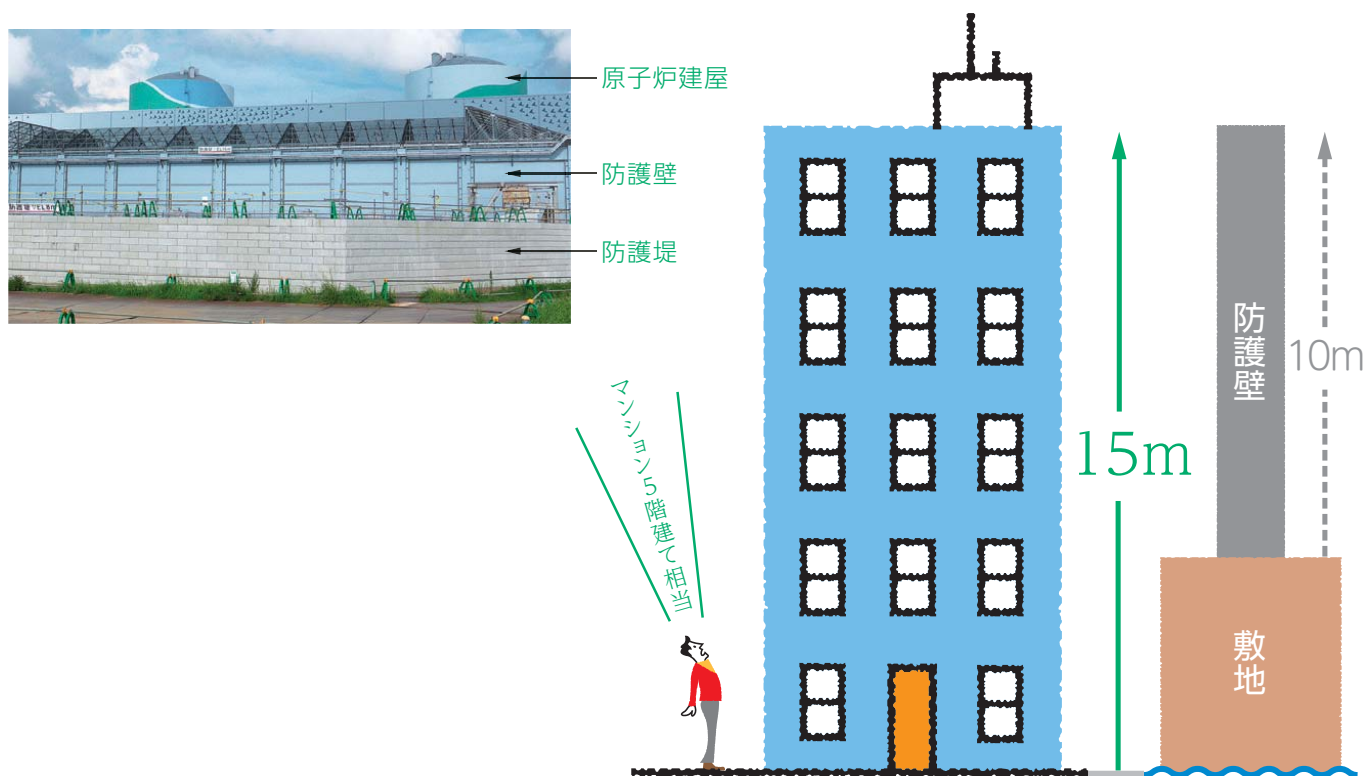
原子力発電所の安全確保に 万全を期します



川内原子力発電所は、想定する最大の津波(海拔6m^{*})に対し
十分な敷地高さ(海拔13m)があります。

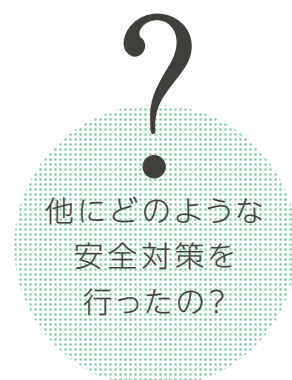
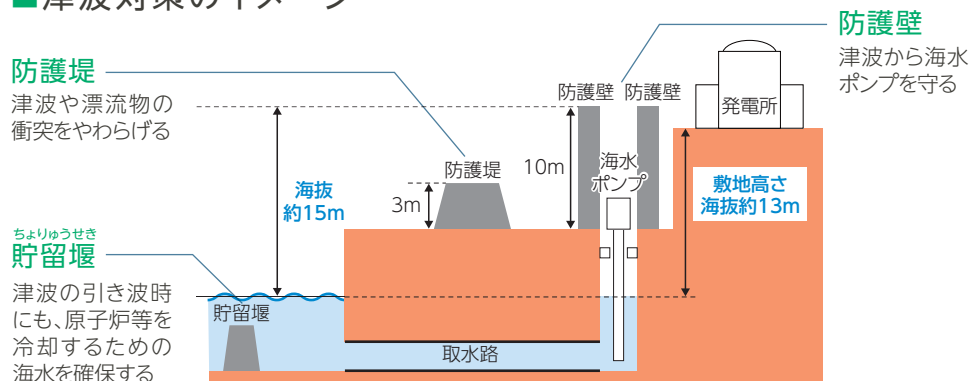
さらに、安全確保に万全を期すため、海水を取水するエリアに、

海拔15mまで**防護壁**を設置しました。



※地震による地盤沈下や満潮位の変動なども考慮

■津波対策のイメージ



詳しくは裏面へ

川内原子力発電所1・2号機、及び玄海原子力発電所3・4号機について、国が定めた新規規制基準への適合は当然のこととして、更なる安全性向上を目指した、さまざまな安全対策に取り組んでいます。

川内原子力発電所における主な対策

1 異常の発生を防ぎます。

竜巻や地震等の自然現象から設備を守る



復水タンクの竜巻防護ネット



地震対策(支持構造物補強)

2 異常の拡大を防ぎます。

外部電源の喪失に備える



大容量空冷式発電機

内部の水漏れから設備を守る



水密扉

3 燃料の損傷を防ぎます。 原子炉の燃料を冷やすため、いくつもの冷却手段を追加



移動式大容量ポンプ車



可搬型注入ポンプ



常設電動注入ポンプ

4 格納容器の破損を防ぎます。

水素爆発による格納容器の破損を防ぐため、格納容器内の水素濃度を低減



静的触媒式水素再結合装置



電気式水素燃焼装置

5 放射性物質の拡散を抑制します。

格納容器の破損箇所への放水



放水砲による放水訓練

海洋への放射性物質の拡散防止



シルトフェンス(海中カーテン)設置訓練

6 放射性物質から地域の皆さまを守ります。

万が一の際に、地域の皆さまの安全を確保するため、社内訓練をはじめ、国や自治体が主催する原子力防災訓練に参加し、原子力防災組織が有効に機能することの確認や防災対策の習熟を図っています。

また、事業者として、住民避難等に対して、可能な限りの支援を行っています。



国主催の原子力総合防災訓練



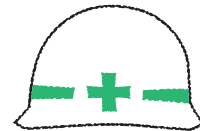
当社が川内地域に配備した福祉車両

その他の支援の取組み

- PAZ[®]圏内の放射線防護対策施設への備蓄品(保存食、寝具等)の配備
- 原子力災害発生時の避難者に対する放射能汚染検査対応要員を確保するための社員教育の実施

※原子力発電所から概ね5kmの範囲

原子力発電所では、万が一の重大事故に備えた訓練を繰り返し行っています



原子力発電所において、
万が一の重大事故等が発生した場合に、
あらゆる事象に速やかに対応するため、

緊急時の体制や手順を整備し、

さまざまな訓練を繰り返し行っています。

【主な訓練の例】

- 電源の供給訓練
- 冷却水の供給訓練
- 放射性物質の拡散抑制訓練
- 住民避難のための通報連絡訓練
など



放射性物質の拡散抑制訓練（放水砲の設置）

■川内原子力発電所の重大事故対策要員

勤務時間外や休日(夜間)でも、重大事故が発生した場合に速やかに対応するため、発電所やその近くに、一班52名の対策要員等を常時確保する宿直体制を整備しています。

区分	人数	
緊急時対策本部要員	4名	52名
運転員	12名	
重大事故等対策要員	36名	

※玄海原子力発電所の重大事故対策要員の宿直体制についても整備していきます。



実際に
どのような訓練を
行っているの？

詳しくは裏面へ

原子力発電所では、万が一の重大事故の発生に備えた訓練を繰り返し行っています。

電源の供給訓練



電源ケーブルの運搬



電源ケーブルの敷設(屋内)



中容量発電機車の電源ケーブル接続

冷却水の供給訓練



可搬型ディーゼル注入ポンプの設置



海水を取水する水中ポンプの設置



ホースの敷設

放射性物質の拡散抑制訓練



放水砲の設置



放水砲による放水

消防訓練(専属消防団)



敷地周辺での森林火災を想定した訓練

県が主催する原子力防災訓練に参加し、原子力防災組織が有効に機能することの確認や防災対策の習熟を図っています。

県主催の原子力防災訓練(玄海原子力発電所)



当社本店と発電所の緊急時対策本部との通報連絡訓練

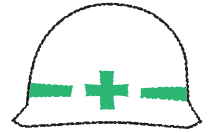


冷却水の供給訓練

2015年1月に、玄海原子力発電所の重大事故の発生を想定して、佐賀県、長崎県及び福岡県による原子力防災訓練が行われました。

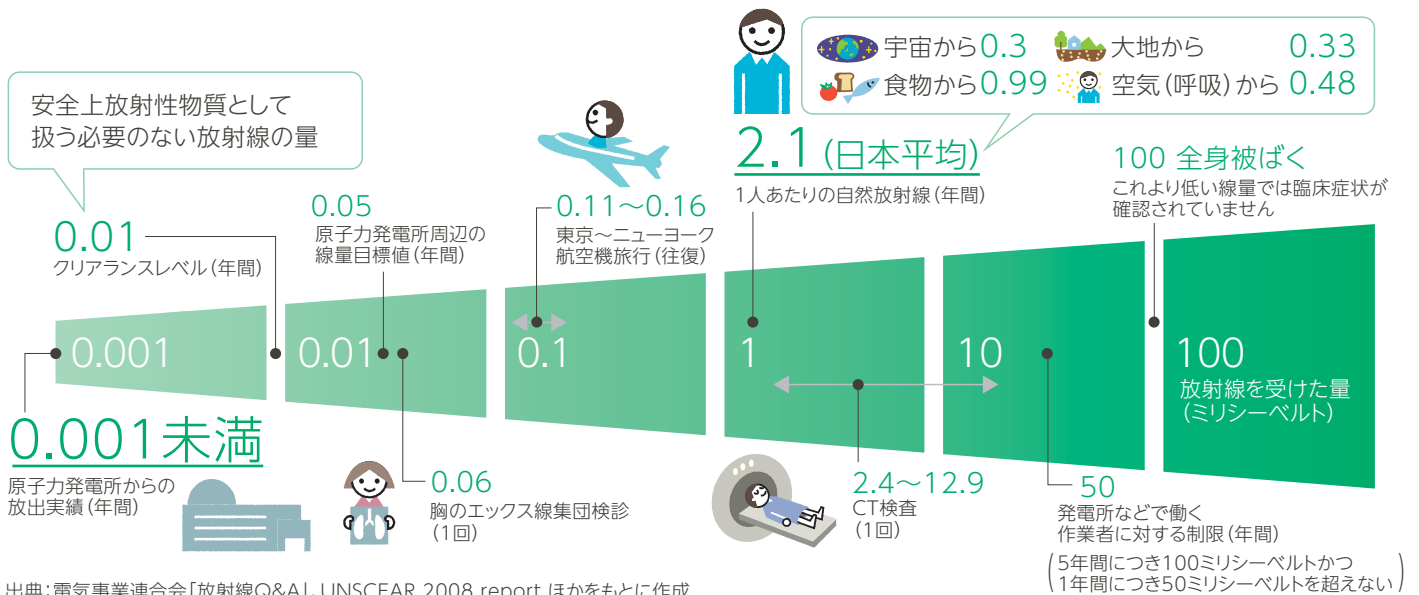
当社は、住民避難のための通報連絡訓練や、重大事故に対応するための電源や冷却水の供給訓練等を実施しました。

原子力発電所では、発電所周辺への放射線量の管理を徹底しています



原子力発電所周辺の人が受ける放射線の量は、自然界から受ける放射線量の2,000分の1以下です。

【日常生活と放射線の量】単位：ミリシーベルト



出典：電気事業連合会「放射線Q&A」、UNSCEAR 2008 report ほかをもとに作成

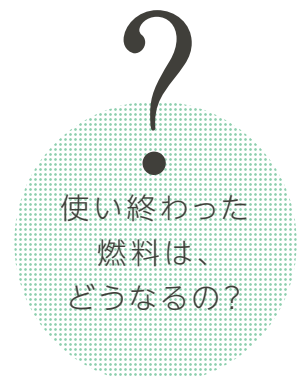
■放射線と生活習慣によって、がんになるリスク

放射線の被ばく線量が100~200ミリシーベルトあたりから、被ばく線量の増加に従い、発がんするリスクが増加します。

100ミリシーベルト以下では、放射線による発がんリスクの明らかな増加を証明することは難しいということが国際的な認識です。

放射線の線量 (短時間1回) *1	がんの相対リスク (倍)		生活習慣因子 *2
1,000~2,000 ミリシーベルト	1.8	1.6	喫煙 飲酒 (毎日3合以上)
500~1,000 ミリシーベルト	1.4	1.29 1.22	やせ過ぎ 太り過ぎ
200~ 500 ミリシーベルト	1.19	1.15~1.19 1.11~1.15	運動不足 塩分のとり過ぎ
100~ 200 ミリシーベルト	1.08	1.06	野菜不足
100 ミリシーベルト以下	検出不可能		

出典：国立がん研究センター、政府関係省庁「放射線リスクに関する基礎的情報」をもとに作成
*1 広島・長崎の原爆被ばく者の疫学調査 *2 成人 (40~69歳) を対象としたアンケート調査



詳しくは裏面へ

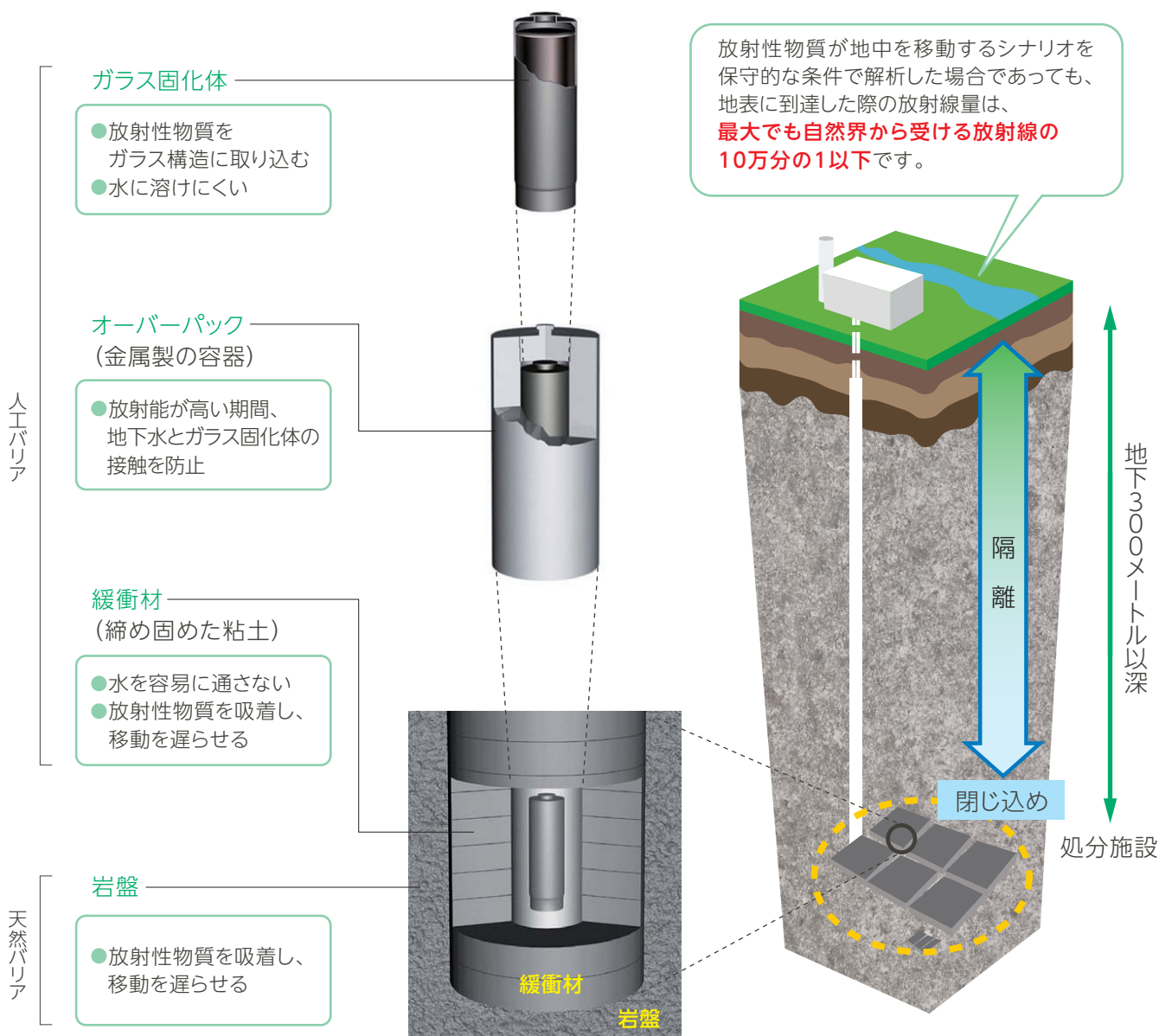
使い終わった燃料は、再処理され、
再び燃料として利用されます。その過程で発生する
高レベル放射性廃棄物に、何重ものバリアを施し、
地下深い地層に安全に処分されることになっています。

日本では、高レベル放射性廃棄物を安定した形態に固め(ガラス固化)、地下300m以上の深い地層に安全に処分することを基本方針としています。

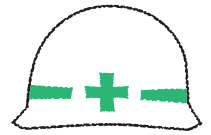
国の研究により、地層処分が技術的に可能で、処分施設を安全に建設できることなどが確認されており、現在、国が前面に立って、処分施設や建設地の選定について検討しています。

地層処分は、国際的にも、技術的に最も有望な方法とされており、諸外国でも取組みが進められています。

放射性物質を閉じ込める多重のバリア



全ての事業活動の基本として、
安全・安心を最優先しています



お客さまに、電気を絶やさずお届けし続けていくため、
台風や集中豪雨など大規模災害を想定した訓練を毎年実施し、
迅速な停電復旧に努めています。



大分中部地区総合防災訓練の様子(高圧発電機車の空輸)

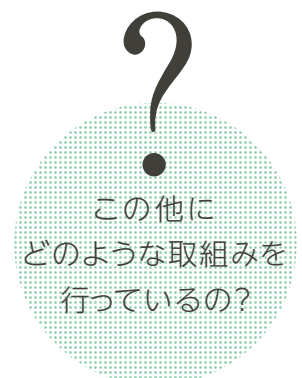
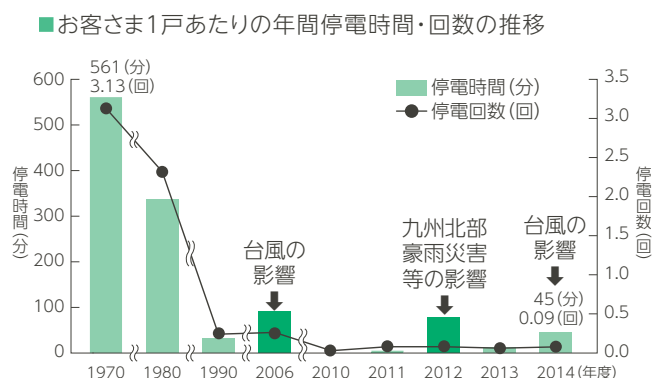


同訓練の様子(復旧車両の空輸)

自治体との合同訓練では、自衛隊の大型ヘリコプターによる
発電機車の空輸など、関係機関との連携を強化しています。

■ 停電時間・回数の低減

大規模災害への対応の
ほか、日頃の設備の
巡視・点検・補修により、
停電時間・回数を大幅に
低減してきました。



詳しくは裏面へ

全ての事業活動の基本として、 お客さまや、地域・社会の皆さま、社員の 安全・安心を最優先した取組みを行っています。

お客さまの安全確保に努めています

お客さまの電力設備への接触による公衆感電事故を防止する設備対策を実施し、お客さまの安全確保に努めています。

また、電柱や電線などの工事施工時においても、周辺のお客さまの安全確保を最優先した対策を実施しています。

● 公衆感電事故防止のための設備対策例

- 鉄塔への昇塔防止や発電所や変電所への侵入防止のため、昇塔防止装置や外柵、注意喚起標識を設置
- クレーン車等重機類や釣竿などの送電線への接触防止のため、河川横断部など必要な箇所に注意喚起標識を設置



送電鉄塔の昇塔防止装置設置状況



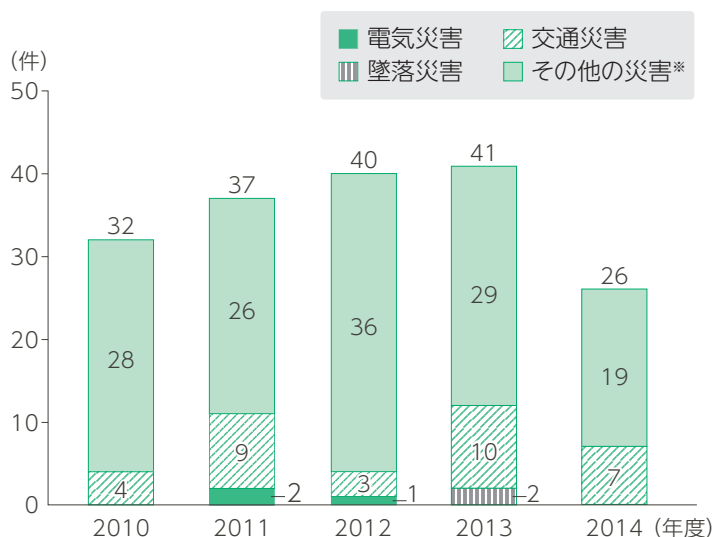
工具落下防止ネット

「災害ゼロの達成」を目指します

社員の業務上災害や委託・請負先の災害が毎年発生しており、災害の未然防止対策や、災害発生の原因を深掘りした再発防止対策の実施、並びにその実施状況の確認を行っています。

また、労働安全衛生法令に関する教育や、危険感受性を高めるための危険体感研修等の安全教育も実施し、「災害ゼロの達成」を目指しています。

● 業務上災害件数(事故種類別)



*その他の災害とは、足元の不注意による転落、転倒、工具の取扱いなどによる災害



安全意識の醸成のために、
各種安全教育を行っています。



当社の目標である「災害ゼロの達成」に向けて、支社においても各種安全教育を定期的を実施しており、「なぜ災害がゼロでなければいけないのか」等、ゼロ災運動の基本を繰り返し教えています。

また、現場で作業を指揮する方には、「そもそも現場に安全は存在しない、常に存在するのは危険である」との意識付けを行い、現場や作業に潜む危険を事前に見つけて対策を行う「先取りの安全活動」等について教育しています。

安全を確保するためには、このような教育を積み重ねて、社員の安全意識を高める事が重要であり、今後も災害ゼロを目指して安全教育に取り組んでいきます。皆さん、ご安全に!!



あんどう しゅんじ
大分支社 人事労務部 労務安全グループ 安藤 俊二

地球環境の保全や地域環境との共生 に取り組んでいます



安全確保を大前提とした原子力の活用や、再生可能エネルギーの開発・導入など、地球温暖化対策に取り組めます。

再生可能エネルギーについては、2030年までに、地熱や水力を中心に、洋上風力も含め、国内外で新たに250万kW、

現在の約**2.7倍**の電源の開発を目標に
グループ一体で取り組めます。



■新たな開発量の内訳

地熱	+80万kW
水力	+20万kW
風力	+110万kW
その他	+40万kW
合計	+250万kW

■再生可能エネルギーの受入拡大への取組み

天候により出力が大きく変動する太陽光などの受入可能量の拡大に向けて、出力変動に対応した需給運用策を検討・実施していきます。

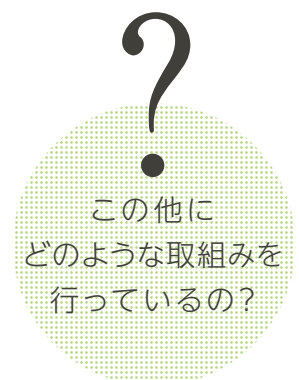
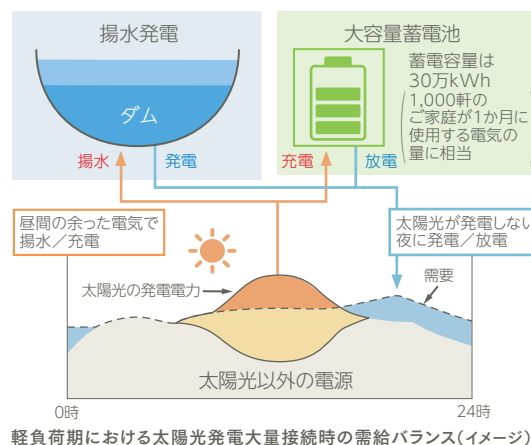
[主な取組み]

●揚水発電の運用

太陽光発電等で余った電気を使ってダムへ水をくみ上げ(揚水)、太陽光が発電しない夜にダムから放水し発電します。

●大容量蓄電池の活用

豊前発電所(福岡県豊前市)に、5万kWの蓄電池を設置(世界最大規模)。太陽光発電等で余った電気でも充電し、使用(需要)と発電(供給)のバランスを改善する実証試験を行います。



詳しくは裏面へ

九州各地において、 地域環境との共生に取り組んでいます。

九州の豊かな自然環境を守り続けます

大分県のくじゅう連山にある坊ガツル湿原一帯の貴重な自然を守るため、地域の方々との協働で、年間を通じてさまざまな環境保全活動を行っています。

坊ガツル湿原は、2005年に国際的に重要な湿地を保全する「ラムサール条約」に登録されています。

●活動状況



野焼き活動 (春)



外来植物駆除活動 (夏)

●活動成果



夏の坊ガツル湿原の風景

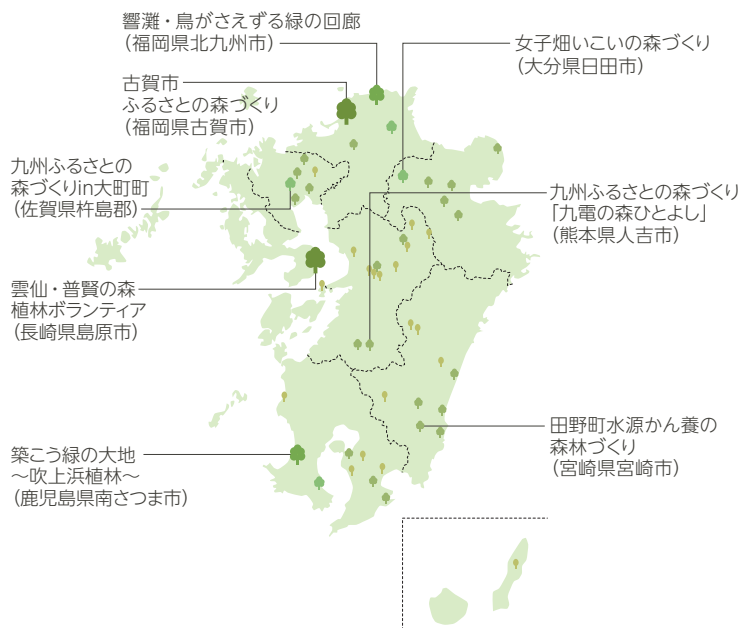
「九州ふるさとの森づくり」では、
これまでに117万本の植樹を行いました

2001年度から、九州各地で、植樹や育林 (下草刈) 活動を行う「九州ふるさとの森づくり」を展開しています。

これまでの14年間でおよそ117万本を植樹し、延べ約15万人の方々にご参加いただきました。

●これまでの主な植樹箇所 (累計5,000本以上)

- は10万本以上
- は5万本以上
- は3万本以上
- は1万本以上
- は5千本以上 (累計)



九重の自然を守る会
副会長

高橋さんからのメッセージ

坊ガツル湿原一帯は、春から夏にかけ、若草が芽吹き緑一面の絨毯へと変わり、ミヤマキリシマが山肌をピンクに染め、多くの登山者や観光客を癒やしてくれます。しかし、この素晴らしい景色は、自然の営みだけでは維持できません。

くじゅうの自然再生や景観維持のため、九州電力さんや地域の皆さんと協働し、坊ガツル湿原の野焼きや外来植物駆除、ミヤマキリシマ植生保護や登山道整備など、1年を通じた活動のおかげで、くじゅうの自然は再生し維持されているのです。

これらの活動は、地域の環境を守るための歴史であり文化です。今後も自然の恵みに感謝して、素晴らしい景観を守り続けるために、九州電力さんと共に永く活動を続けられることを願っています。



たかはし ゆうじろう
九重の自然を守る会 副会長 高橋 裕二郎さん

誠実で公正な事業運営を徹底しています



皆さまから信頼される企業であり続けるため、
社員のコンプライアンス意識啓発に取り組んでいます。

2014年度は、

700回を超える研修を行いました。



■コンプライアンス研修の内容

受講者にコンプライアンスを自らの問題として考えさせる
研修を実施しています。

主な研修内容

- 実際に起こりうるコンプライアンス事例をもとに、問題点や取るべき行動について、少人数でグループ討議を行う研修
【研修事例】 ・ソーシャルメディア利用時の留意点
・職場におけるハラスメント など
- 懲戒処分となった場合に、どのような環境変化が起こるのかをロールプレイング形式で考えさせる研修
【研修事例】 ・飲酒運転による懲戒事案 など



この他に
どのような取組みを
行っているの？

詳しくは裏面へ

グループ一体となって、 コンプライアンスに取り組んでいます。

社内イントラネットで、コンプライアンス 情報を共有しています

社内イントラネット「コンプラネット」に、当社のコンプライアンスに関する情報を掲載するとともに、法令改正や裁判に関するニュース、法律用語の解説や教育素材等のコンテンツを定期的に配信しています。

2015年度からは、「コンプラネット」を通じて、コンプライアンスの取組みの良好事例を共有し、各職場での水平展開を図ります。



コンプラネット画面

お客様の個人情報や社内情報などの 管理を徹底しています

経営層を総括責任者とする体制のもと、各職場に責任者や管理者を配置し、社員教育やセキュリティゲートの設置など、組織的・人的・物理的・技術的な側面からの対策を講じて、お客様の個人情報や社内情報などの情報管理の徹底を図っています。

また、グループ各社への指導や技術的支援を通じて、グループ全体での情報セキュリティ確保に取り組んでいます。



◀ 新入社員対象の
情報セキュリティ
研修



セキュリティゲート▶



コンプライアンス意識を高めるため、
対話を中心とした研修に
取り組んでいます。

当たり前のことを、当たり前にする。すべきでないことは、しない。それによって、社会的要請に
応えることが、コンプライアンスの基本だと思います。

しかし、当たり前だと思っていることも、時と共に変化します。私たち一人ひとりが、「これで大丈夫
か?」「社会の常識とずれていないか?」と問い続けることが大切だと思います。

長崎支社エリアにおいても、グループ討議などの対話を中心としたコンプライアンス研修を
行っています。対話を通じて多様な考えにふれ、新たな気づきを得たり、自分の考えを整理したりして、
コンプライアンス意識を高めることが目的です。

私は研修の講師を務めています。受講者を指導するのではなく、一緒に考える姿勢で取り組んで
います。



たけした つとむ
長崎支社 コンプライアンス支社所管エリア担当 竹下 勉



お客さまからいただいた声を事業運営に活かしています



日常の事業活動やお客さま対話活動など、あらゆる機会を通じていただいたお客さまの声を事業運営に反映しています。

2014年度は、

延べ **12.8万人** を超えるお客さまと対話を行いました。



■お客さまの声を大切にした事業運営の仕組み

【お客さまとの接点】

日常の事業活動
(電話・窓口・現場対応)

お客さま対話活動
(訪問活動・懇談会・説明会等)

ホームページ(HP)

アンケート など

【お客さまの声の流れ】

対応・検討結果も含め、
全社員が閲覧可能

事業運営に反映

レインボーシステム
(ご意見やご要望など、
いただいたお客さまの声を社員が入力)

お便りBOX
(ご意見やご要望、質問など、
お客さまが当社HPから入力)

各部門

経営層



お客さまの声を
どのように
反映したの？

詳しくは裏面へ

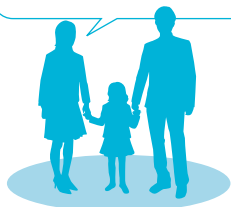
お客さまからいただいた声を 事業運営に反映した主な事例を ご紹介します。

【改善事例その①】

口座振替日指定サービスの開始

「自分が指定する日に電気料金を口座から引き落としてほしい」という声にお応えし、2014年10月から、「口座振替日指定サービス」を開始しました。

お給料日の後に電気料金を引き落としできないから…



給料日に支払いたい

固定日振替がおすすめです!
※1~30日のご指定日に振替いたします

毎月末に支払いたい

月末振替がおすすめです!
※月末日に振替いたします

支払期日に支払いたい

支払期日振替がおすすめです!
※お支払期日(検針日の翌日から起算して30日目)に振替いたします

口座振替割引が適用されないなどの注意事項があります。詳しくは、当社ホームページをご覧ください。お近くの当社営業所(コールセンター)までお問い合わせください。



● http://www.kyuden.co.jp/user_payment_transfer.html

【改善事例その②】

停電発生時における情報発信の更なる充実

「台風などの非常災害時以外の停電情報も知らせてほしい」という声にお応えし、2015年4月から、非常災害時以外の停電情報も速やかに当社ホームページに掲載しています。

停電発生日時や復旧日時、停電地域、停電の原因をお知らせしています。

● http://www.kyuden.co.jp/user_emergency_index.html

九州電力 | 停電情報

九州電力サービスエリア内で発生している停電情報をお知らせしております。

福岡県 佐賀県 長崎県 大分県 熊本県 宮崎県 鹿児島県

現在発生中の停電情報 過去発生した停電はこちら

2015年01月28日 15:05 現在

市区町村	地区	現在の停電戸数	発生時刻	復旧見込時刻	原因
朝倉市(周辺)	詳細	調査中	01月28日 15:01	確認中	調査中
福岡市中央区(周辺)	詳細	100戸未満	01月28日 14:20	確認中	調査中
福岡市中央区(周辺)	詳細	約200戸	01月28日 14:20	確認中	調査中
大牟田市(周辺)	詳細	約300戸	01月28日 14:13	01月28日 15:00(目安)	調査中
北九州市小倉北区(周辺)	詳細	100戸未満	01月28日 14:11	01月28日 15:41(目安)	車両事故による電柱折損

台風などの非常災害による停電の場合、上記に表示されないことがあります。右のボタンをクリックし、ご確認ください。

台風などの非常災害による停電情報

お問い合わせ先(営業所) 停電に備えて



電波に乗せて、お伝えします。

北九州支社では、地元コミュニティFMラジオに社員が出演し、地域の皆さまへ当社に関する情報をお伝えしています。

社員が出演するのは、「Jumpin' KITAQ」の中の「Talk with Kyuden」というコーナーです。出演のきっかけは、お客さま対話活動において、ラジオ局「FM KITAQ」の社長からいただいた「お客さまからもっと九電に親しみを感じてもらうため、番組に出てはどうか」というご提案でした。

毎週金曜の15時から10分間、番組パーソナリティとお話ししながら、電力の需給状況や原子力発電所の安全対策、省エネ情報などを、工夫を凝らしながら分かりやすくお伝えしています。



ほり たかひろ
北九州支社 企画・総務部 広報グループ 堀 考浩

よりよい社会をつくるため、
地域の皆さまと共に活動しています



2014年度は、

延べ**6万名**の社員が、

地域・社会共生活動を行いました。



2014年度からは、地域の方々との **こらぼらQでん** を
展開しています。

■ ボランティア活動の領域をさらに広げるため、
NPOや地域の方々と協力して取り組むボランティア活動
「こらぼらQでん」を開始しました。

【2014年度の活動実績】

- 回数: **10団体**と計**20回**の活動
- 参加者数: 延べ**1,175名** (地域の方々を含む)

※「こらぼら」とは、コラボレーション×ボランティアの造語です



どのような
取組みを
行ったの？

詳しくは裏面へ

よりよい社会をつくるため、 当社グループの人やノウハウを活用し、 地域の皆さまと共に活動しています。

地域のニーズや課題に応じた
活動を行っています

綾中学校中庭テラス化プロジェクト(宮崎)

誰もが集う公園としての学校づくりを目指す綾中学校(東諸県郡綾町)と、NPO法人みんなのくらしターミナルとの協働で、「綾中学校中庭テラス化プロジェクト」に取り組みました。

地域の方々とともに、当社社員やグループ会社社員など、延べ138名が電線ドラムやダム流木を再利用し、テーブルやベンチを製作しました。



みんなのくらしターミナル 地域の方々とのベンチ製作

重要文化財の配線点検(長崎)

長崎支社エリアでは、毎年11月の文化財保護強調週間にあわせ、県内の重要文化財の電気設備の配線点検を行っています。

2013年からは、世界遺産登録を目指す県内の教会群の配線点検も行っています。



田平天主堂(長崎県平戸市)での配線点検

まちづくりを通して、地域活性化に
取り組んでいます

橋詰発電所(1921年竣工)をはじめ3つの水力発電所が立地する福岡県うきは市では、地域の方々、うきは市、九州大学及び当社との4者間において、まちづくり推進に向けた協力協定を締結し、歴史的な建物の活かし方を検討するなど、「浮羽まるごと博物館」構想を推進しています。

また、技術協力のほか、九州北部豪雨災害で被災した水力発電所流域の棚田の復旧ボランティア活動も行いました。



地域の方々とのまちづくりワークショップ



棚田復旧ボランティア活動

社員の
思い

チカラ自慢が
被災地の災害復旧をお手伝い!

九州北部豪雨で被災した、うきは市の棚田を復旧させるため、社内のチカラ自慢(ラグビー部・柔道部・相撲部)を集めて、棚田へ流れ込んだ土砂かき出しのボランティア活動を行いました。

チカラ自慢が「日頃の練習とは違った動き」と汗びっしょりで取り組んだ成果もあり、稲作ができる状態に回復。地主さんから「半ばあきらめていたところに、気持ちの優しい力持ちの皆さんが集まってくれました。元に戻った田んぼでの新たな収穫が楽しみです。」と嬉しい言葉もいただきました。

これからも、当社のノウハウや知見の提供だけでなく、ボランティア活動も通じたまちづくりに貢献していきます。



しのざき まさひろ
技術本部 火力・技術グループ 篠崎 正弘

多様な人材が最大限の能力を発揮できる
働きやすい職場環境をつくります



女性が生き生きと働き続けられる環境を整備し、
2018年までの女性管理職の新規登用数を
過去5年間の2倍にすることを目指します。

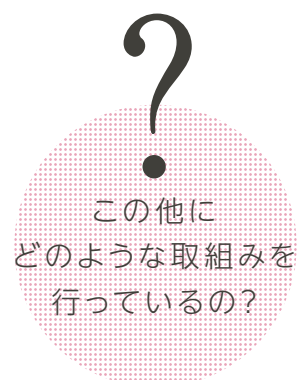


女性の感性・発想を
業務運営に活かし、
お客さまへのサービス力を
向上させていきます。



■女性活躍推進に向けた具体的取組み

意識改革、 風土の醸成	<ul style="list-style-type: none">●社長メッセージの発信●イントラネットを利用した情報発信<ul style="list-style-type: none">・ロールモデルとなる先輩女性社員の紹介・社外の情報、セミナー等の情報提供●管理職への働きかけ<ul style="list-style-type: none">・管理職を対象としたダイバーシティ推進に関する説明会の実施・各支社幹部との意見交換会の実施
女性のキャリア 形成支援	<ul style="list-style-type: none">●女性の職域拡大●女性社員懇談会の開催
仕事と家庭の 両立支援	<ul style="list-style-type: none">●両立支援セミナーの開催●仕事と育児／介護の両立支援ガイドの周知



詳しくは裏面へ

社員の性別や年齢、階層等に関わらず、 一人ひとりが能力を最大限に発揮し、 働きがいや生きがいをもって仕事ができる 職場環境づくりを推進しています。

男女がともに働きやすく、活躍できる 職場を目指しています

福岡支社エリアでは、男女がともに働きやすく、活躍できる職場を目指すため、社員同士で語り合い具体的な取組みを考える「男女イキイキ推進」を展開しています。職場環境に対する社員の評価向上を目標に、業務の改善改革によるワークライフバランスの充実や、部下一人ひとりのきめ細かな人材育成などに取り組んでいます。

また、女性の活躍推進として、先輩女性社員との対話により経験を共有し、今後のキャリアパスを考える場としてのネットワークも構築しています。



「男女イキイキ推進」における意見交換会

高年齢者の雇用環境の充実や、 障がい者の雇用促進に努めています

60歳以上の従業員を、「豊富な経験や高度な知識・スキルを有する貴重な人材」と位置づけ、意欲をもってより一層活躍できる仕組みとして、従来の再雇用制度の充実を図り、2015年度から「キャリア社員制度」を導入します。

また、障がいのある方も、地域・社会の中で活躍できる社会づくりに貢献するため、グループ体となって、障がい者の雇用促進に努めています。ローカルテレビ局が制作する番組への字幕制作を行っているグループ会社の(株)九州字幕放送共同制作センターでは、字幕の制作に際し、障がい者の方々をスタッフとして採用しています。



(株)九州字幕放送共同制作センター



一人ひとりが明るく
前向きに働くことのできる
職場を目指して取り組んでいます。

「男女イキイキ推進」の取組みでは、『私たち一人ひとりが自分たちの職場は自らで築く』ことを目指し、社員同士アイデアを出し合っています。私も、取組みを推進する一人として、みんなの意見を大切に、丁寧に進めていくことを心掛けています。

また、女性活躍推進の一つとして、女性社員の働き方を紹介する社内誌で、お互いの頑張っている点や工夫している点を共有し、刺激し合うネットワークづくりにも力を入れています。

私も、仕事と育児の両立に奮闘する毎日なので、多くの社員との交流を通して学びながら、より良い職場づくりに貢献していきます。



ながとも さとみ